

REPORT

血管留置カテーテルの 自己抜去と 刺入部のフィルム固定に 関する実態調査

2023.1.31 作成

はじめに

skinixは2022年12月、血管留置カテーテルにおける自己抜去と刺入部のフィルム固定に関する実態調査を実施しました。

本レポートでは、102名の医療従事者から得られた回答を元に、血管留置カテーテルにおける自己抜去と刺入部のフィルム固定の実態を3項目に分けて報告します。

※本レポートの著作権はskinixが保有しますが、著作権法上認められている引用などの利用について制限はございません。
引用の際は出典を明記してください。

回答者102名の属性

勤務先

病院	77名 (75.5%)
診療所/クリニック	3名 (2.9%)
訪問看護ステーション	17名 (16.7%)
介護施設	5名 (4.9%)

職種

看護師	99名 (97.1%)
医師	2名 (2.0%)
助産師	1名 (1.0%)

役職

部長・看護部長クラス以上	8名 (7.8%)
課長・看護師長クラス	13名 (12.7%)
主任クラス	27名 (26.5%)
一般（役職なし）	54名 (52.9%)

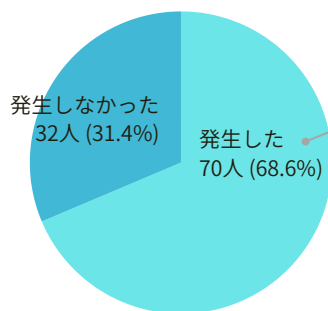
1. 血管留置カテーテルの「自己抜去」の実態

自己抜去の発生状況と発生件数、予防に関する意識、予防に困っているカテーテルの種類について調査しました。

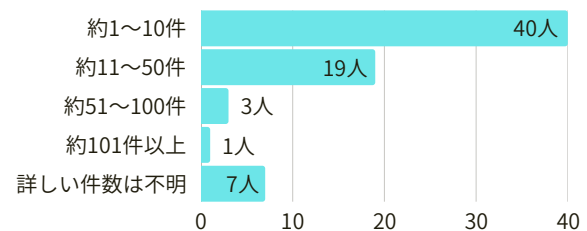
※自己抜去には自然抜去・事故抜去を含まない。

※発生件数については、回答者は施設内での発生総数を把握しているとは限らないため、回答者本人の管理下で発生した件数を記載。調査時は自由記述で回答を記載してもらい後日集計した。

自己抜去は過去1年以内に発生しましたか？

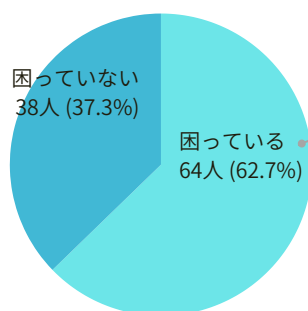


自己抜去は過去1年間で何件発生しましたか？

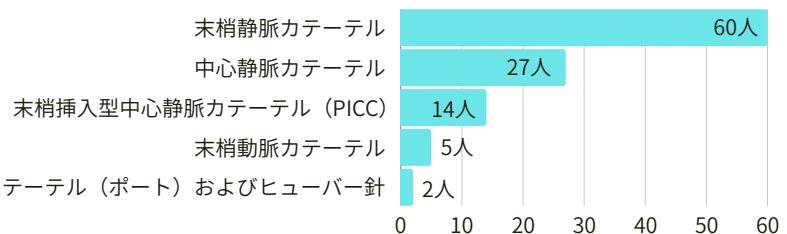


回答者本人の管理下で年間100件を超える自己抜去が発生している例もありました。施設の規模や回答者の管理下にいる患者数によって大きく異なりますが、6割以上の回答者の管理下で自己抜去が発生している実態が判明しました。

自己抜去の予防に困っていますか？



自己抜去の予防に困っているのは、どのカテーテルですか？（複数回答可）



約62%の人が自己抜去の予防に困っており、予防のための対策における苦労が伺えます。特に末梢静脈カテーテルの自己抜去予防に困っている人は、64人中60人と非常に多くを占めます。末梢静脈カテーテルに次いで多いのは、感染面や安全面でも注意が必要な中心静脈カテーテルで、さらに末梢挿入型中心静脈カテーテル（PICC）と続きます。

2. 血管留置カテーテルの自己抜去における「刺入部のフィルム固定」の影響

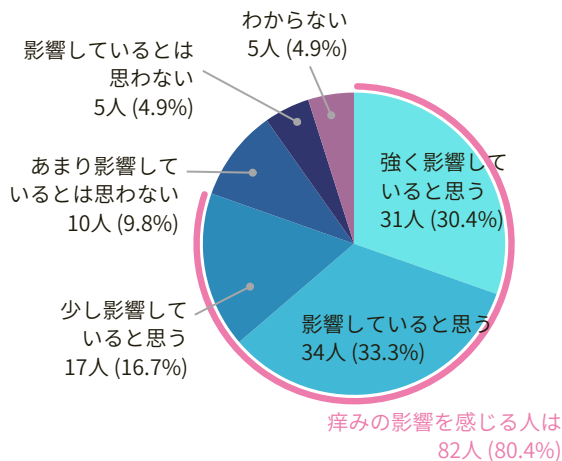
血管留置カテーテルの刺入部を固定するフィルムについて、自己抜去にどのような影響があると感じているか、自己抜去の発生状況と発生件数と併せて調査しました。

※自己抜去には自然抜去・事故抜去を含まない。

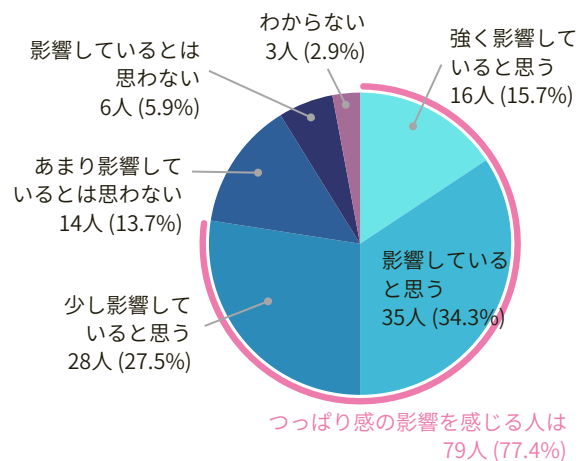
※発生件数については、回答者は施設内での発生総数を把握しているとは限らないため、回答者本人の管理下で発生した件数を記載。調査時は自由記述で回答を記載してもらい後日集計した。

自己抜去の原因として、「刺入部固定用のフィルムドレッシングに起因する痒み・つっぱり感・痛み・かぶれ」が影響していると感じますか？

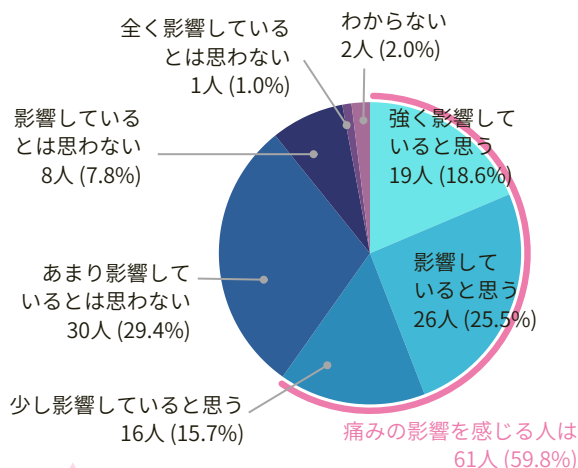
痒み



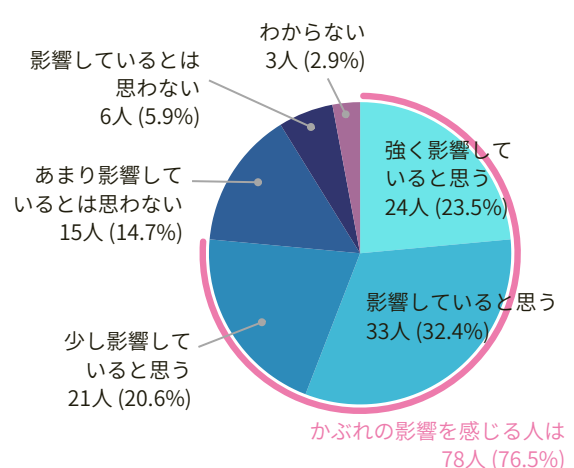
つっぱり感



痛み

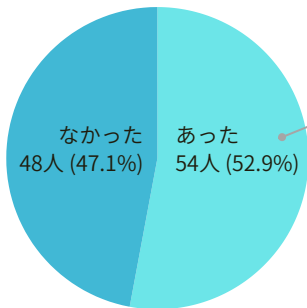


かぶれ

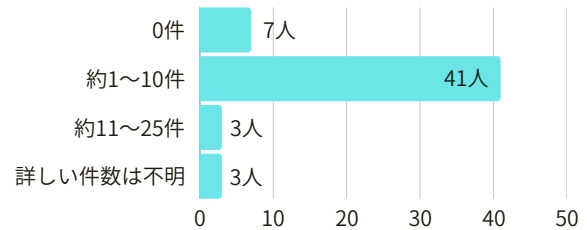


刺入部固定用フィルムによって生じる「痒み」が、自己抜去に対して影響すると感じる人が8割以上を占めました。対して「痛み」が影響すると感じる人は6割程度と比較的少ないという結果でした。刺入部固定用フィルムによって痒み・つっぱり感・痛み・かぶれなどの不快感が生じた場合、その不快感の種類によって自己抜去への影響の大きさが異なると示唆されます。

刺入部固定用のフィルムドレッシングに起因する痒み・つっぱり感・痛み・かぶれのいずれかが、自己抜去の最も大きな原因となったと想定される事例は過去にありますか？



そのような事例は、
過去1年間で何件発生しましたか？



自己抜去のうち、「刺入部固定用のフィルムドレッシングに起因する痒み・つっぱり感・痛み・かぶれのいずれか」が最も大きな原因だったと想定される事例が過去にあったと回答した人は、5割を超えました。

刺入部固定用フィルムに起因する痒み・つっぱり感・痛み・かぶれなどの不快感が、自己抜去の主な原因のひとつだと考えられることがわかりました。

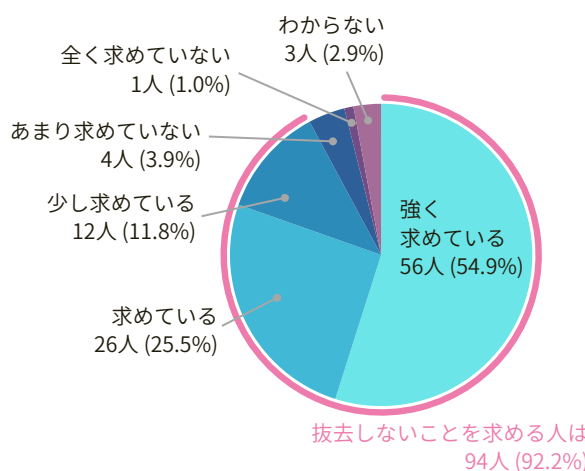
3. いま、血管留置カテーテルの 刺入部固定用フィルムに求めること

中心静脈カテーテルと末梢静脈カテーテルのそれぞれにおいて、刺入部固定用のフィルムドレッシングにどのようなことを求めるかを調査しました。

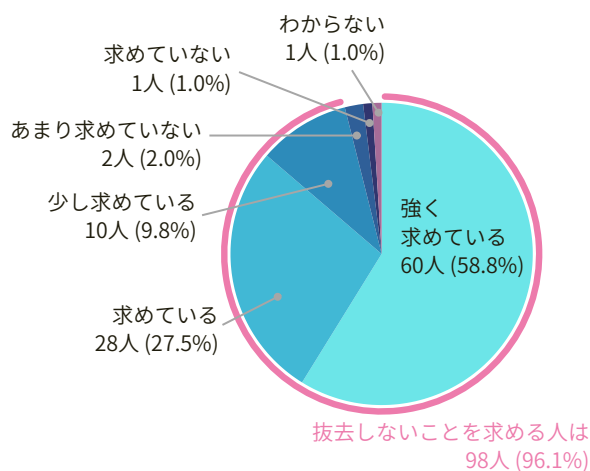
刺入部固定用のフィルムドレッシングに、以下のことを求めていますか？

抜去しないこと（事故抜去・自己抜去・自然抜去の全てを含む）

中心静脈カテーテル

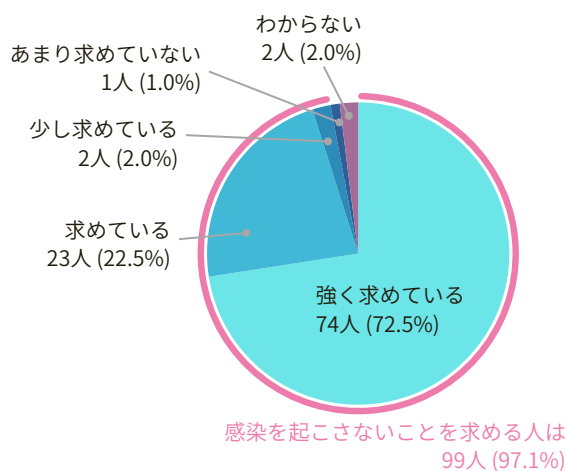


末梢静脈カテーテル

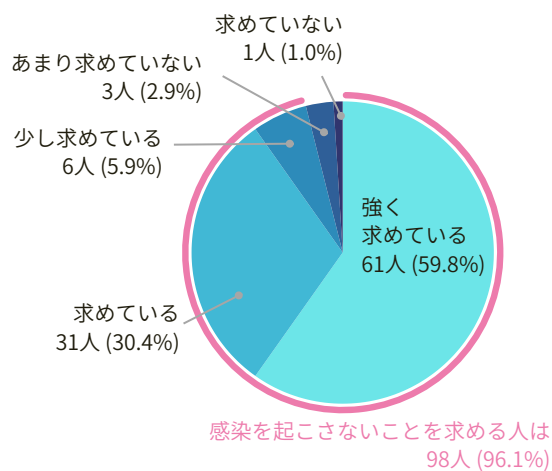


感染を起こさないこと（カテーテル由来血流感染など）

中心静脈カテーテル

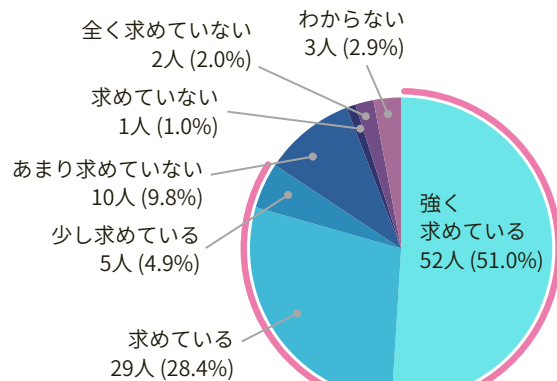


末梢静脈カテーテル



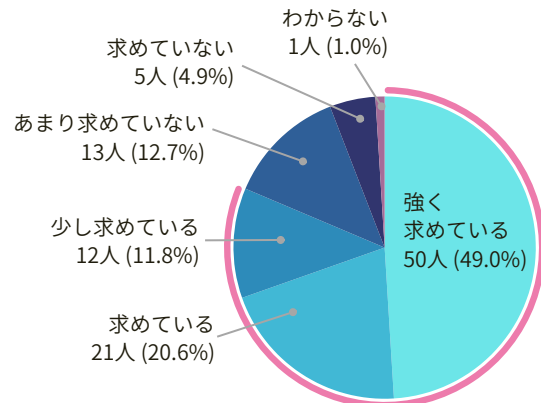
静脈炎を起こさないこと

中心静脈カテーテル



静脈炎を起こさないことを求める人は
86人 (84.3%)

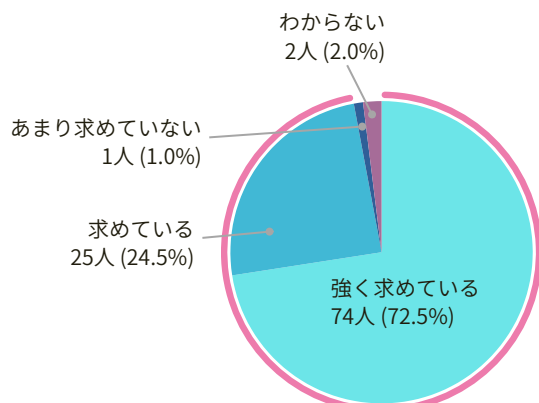
末梢静脈カテーテル



静脈炎を起こさないことを求める人は
83人 (81.4%)

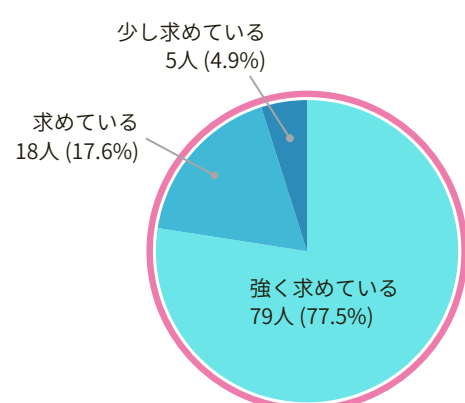
皮膚トラブルを起こさないこと (かぶれ、スキン-テア、医療関連機器圧迫創傷など)

中心静脈カテーテル



皮膚トラブルを起こさないことを求める人は
99人 (97.1%)

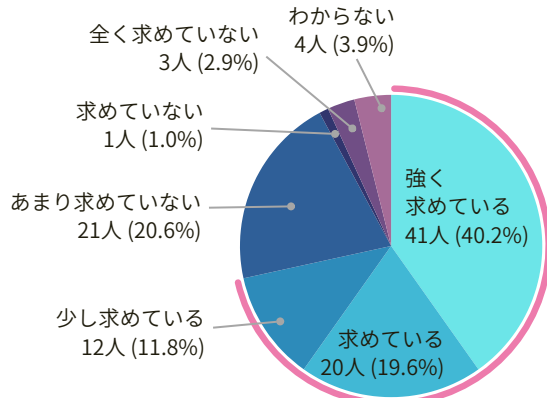
末梢静脈カテーテル



皮膚トラブルを起こさないことを求める人は
102人 (100.0%)

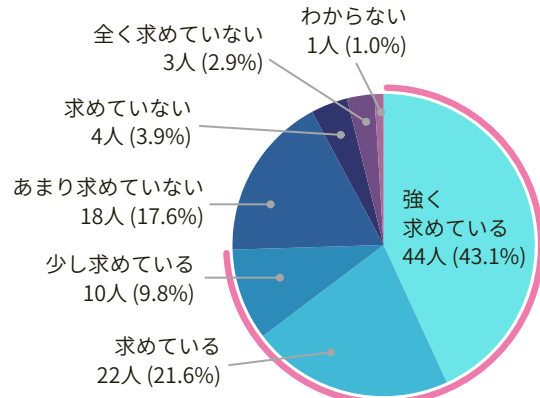
血管外漏出を起こさないこと

中心静脈カテーテル



血管外漏出を起こさないことを求める人は
73人 (71.6%)

末梢静脈カテーテル



血管外漏出を起こさないことを求める人は
76人 (74.5%)

刺入部固定用のフィルムドレッシングに対して最も求めることは「皮膚トラブルを起こさないこと」であり、中心静脈カテーテルで97%の人が、末梢静脈カテーテルでは100%の人が求めていることがわかりました。皮膚トラブルを起こさないことは、いずれのカテーテルにおいても刺入部固定用フィルムに求められる機能と言えます。

次いで求められているのは「感染を起こさないこと」でした。特に中心静脈カテーテルでは「強く求めている」と回答した人が72%を超え、末梢静脈カテーテルで「強く求めている」と答えた60%と比較して高い結果でした。

その次に求められているのは「抜去しないこと」でした。

中心静脈カテーテルと比較して末梢静脈カテーテルの方が「強く求めている」「求めている」と回答した人が多いという結果でした。末梢静脈カテーテルは自己抜去で困っている人が中心静脈カテーテルの2倍以上と多かったこと（本レポート2ページより）から、末梢静脈カテーテルの方がより抜去しないことが求められているようです。

まとめ

- 血管留置カテーテルの自己抜去の予防に困っている人は64人と6割を超え、そのうち60人もの回答者が末梢静脈カテーテルで困っており、末梢静脈カテーテルの自己抜去対策が現場では求められています。
- 血管留置カテーテルの自己抜去発生原因として「刺入部固定用のフィルムドレッシングに起因する痒み・つっぱり感・痛み・かぶれのいずれか」が最も大きな原因だったと想定される事例が過去にあったと回答した人は、5割を超えました。特に痒み・かぶれ症状の発生が大きな原因と考えられます。
- 血管留置カテーテルの刺入部固定用フィルムには、「皮膚トラブルを起こさないこと」が最も求められています。中心静脈カテーテルでは「感染を起こさないこと」が、末梢静脈カテーテルでは「抜去しないこと」がそれぞれ強く求められ、刺入部固定用フィルムには固定以外にも高い機能が求められている現状が判明しました。